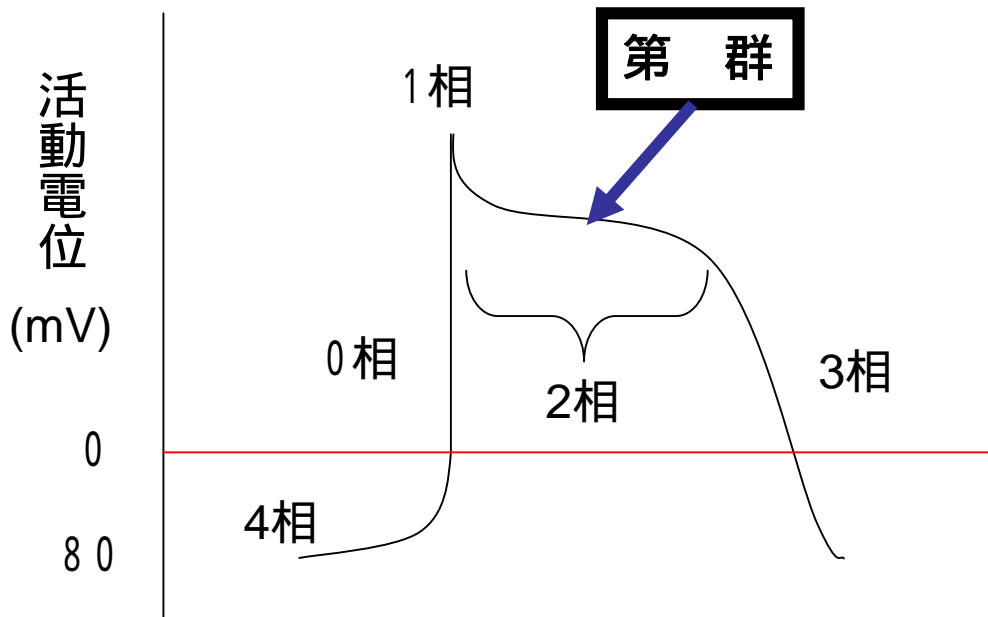


# 抗不整脈薬～第 群～



→ : 阻害

抗不整脈薬はVaughan Williams分類では第 群、第 群、第 群、第 群の4つに分類できる。  
さらに第 群は a群、 b群、 c群に分類されている。

## 第 群抗不整脈薬

Ca<sup>2+</sup>チャンネルを抑制することにより、抗不整脈作用を示す。  
異常自動能抑制やリエントリーの遮断も期待できる。

## 代表薬

ベラパミル: 頻脈性不整脈に用いられることが多い。

ジルチアゼム: カルシウム拮抗作用により、血管拡張作用や房室結節伝導時間の延長作用を示す

ベプリジル:  $K^+$ 、 $Ca^{2+}$ 、 $Na^+$ 、チャンネルに作用する。

また、冠血管拡張作用、心拍数および末梢血管抵抗を減少させる作用を持つ狭心症治療薬でもある

参考資料: 治療薬マニュアル2006 医学書院

処方ができる医療薬理学2004-2005 中原 保裕 Gakken

今日の治療薬2007 神谷 大雄 久保 孝夫 塩見 浩人 南江堂

薬理学 神谷 大雄 久保 孝夫 塩見 浩人 廣川書店

薬剤師のための服薬指導ガイド 第2版

和田 攻 朝長 文彌 株式会社 文光堂

「循環器疾患の服薬指導」指針 柴川 雅彦 高田 充隆

医薬ジャーナル社